〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕 磐城新聞 〔昭和五年二月二十七日〕

(二十六日夕刊)

休刊 大祭 第一 第三日曜

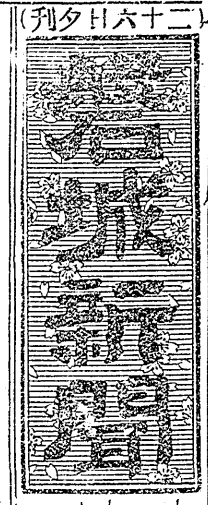
定價 一ヶ月 一部二錢 郵税十五錢 六十錢

廣告料 壹行六十錢 指定廿錢增

福島縣平町田町十六番地 磐城新聞社

發行所 磐城新聞社 電話五六四番

發行者兼編輯兼印刷人 薄沼龍輔



大衆文藝の行方

甲賀三郎

大衆小説はその喜ばれる範圍が非常に廣い。インテリゲンチャはそれを非現代的ナンセンス讀物として喜ぶ、プロレタリヤ大衆は生活の苦患の避難所更に進んでは一つの倫理教科書としてさへ好んで讀む。是等の大衆小説、於てはその主人乃至副主人公に多く無慾恬淡主觀的正義の士を選んでゐる。現社會に於て正義が如何に地に落ち無慾恬淡が如何に愚にもつかぬものであるかは日々の新聞紙が最も簡明に之を證明してゐる。大衆文藝を現在のものとして見る時に伺はる土濟々たる作家群っあり事は意を強うするに足る。就中白井喬二氏は夙に筆者の愛讀措く能はざるもので、無慾恬淡屬々逸々の士が錯雜數奇の運命に轉々とする所、何と云へない氏一流の味が出し、一讀三嘆に値する。氏自身夙に現在への跳躍に甘んせず、明日への進出に苦しんで居られるやうでまるが、既に述べた如く、そのことは自身が現在の大衆文藝には不可能に近いのは、同氏に對して甚だに氣の毒である。大佛次郎氏のものは筆者はたった一つ而も非常短篇を一つしか讀んでゐない。そしてこの事は寧ろ誇つてゐるといふのは筆者は數年以前にサンデー毎日の特輯號で氏の短篇を讀んだ。その内容は舊友の葬式に會葬して何事かを感じ番物心境小説の如きものであつたが、その驚然たる筆致の透徹した觀察、大衆小説からかゝる新人出でりと非常に意を強うしたい。果せるかな、後年「赤穂浪士」で嶄然頭角を現した筆致は赤穂浪士を讀まないけれども、すでに數年前に氏の今日あるを豫定し得た喜びに充たされる。氏の最近い風し、全く明日のものであり得ない。現在より未來への過渡期のものであるといふことを氏自身自覺すべきである〻思ふ。吉川英治氏は徹頭徹尾今日の人家である。明日への望みは恐らくつなげないであらう。さうながら氏が持つてゐる構想の雄と探偵小説を採つて讀者を完全に自家藥籠中のものとする手腕に至つては當代氏の右におづるものは恐らくないと思ふ。爾餘の作家については紙面の都合上論及し得ないことを遺憾とするが右に擧げた作家及び論じ得なかつた作家のものゝうち今後數世紀にわたつて讀者を持得る作品は蓋し三四にして止まらないと信ずる。

※明日の吉凶※

▲一白 外部の不安去らず進まんとすれば失敗あり▲二黑 發展向上の大吉日なり氣緩みせぬやう注意▲三碧 地盤を固めて進めば永久の基ひを開くべし▲四綠 別に無理を働かずとも自然の發展あるべし▲五黃 一

蔭月一日 新月二日 暦九二 暦七二 日

紙上相談

再婚した嫁

離縁の手續を

夫の死亡後一子を殘して實家に歸り再婚子を舉げたる嫁を離縁せんとせしに先方にて拒絶せりその離縁手續きを御報らせ下さい

（五丁目木村重吉）

先づ以て本人に對し一應は一定の居所を指定したき若し本人が其居所を無斷離れたる事實を確めたる後爰に始めて貴家の家籍より脱くべく離籍の手續きを執るより外途はありませぬ右は戸主權の作用として其戸主より家族たる嫁に對する離籍方法を申したるまでですが左にすでしてその遺兒が戸主なるときは又別問題ですから紹介の文をもらつて來この場合はその嫁に對して居ましたから、混沌社離婚離縁は勿論離籍をも中井竹山を訪れました。

この混沌社といふのは、後の手段として先づ利害當時、大阪に根據を置いて關係者より親權喪失の新儒學、聖學の學徒をもつて起し嫁の子に對する組織されたる一つの今日親權を、然剝奪して置くとも出來ませぬから最

——示時正確に——

高橋時計工作所

平町土橋通り

十四五才のもの 徒弟入用

幕末奇傑高山彦九郎

(76) 中西洋々作 布施長春畫

假初の宿（一）

その日の午後遅く、彦九郎は大阪に足を踏み入れました。

京を出る時に、皆川淇園に紹介の文をもらつて來ましたから、混沌社に居りました。

この混沌社といふのは、十二月も始めを過ぎればまもなく南に寄つたこの國の旅も流石に寒の破れから入る風に、日に夜をついで急ぐ道はしつゝ故人の德を追慕し、次第に寒さを增して參ぬり僧侶の唱へる經文に僅かに死せる人の冥福を祈念致しました

斯ういつて三年後を約しと直ちに泉岳寺に詣でました。四十七士の靈、靜かに眠る墓邊をしばしの間逍遥して翌々日大阪を更に西へ向けて身をとりました。

森和泉守長道に賜はりそれ

「高山氏、このまゝ二三年以來代々森氏の所領となつてゐるこゝにあつて勉强なさるおたのであります。この森氏心はないか」

はもと信州津山にあつて、中にも河野怒齋は斯ういつて十八萬石の高祿を食んでゐつて熱心に彦九郎に進めたた程の家柄でありましたが長直の代に、將軍家の忌諱に觸れることあつて、二萬石に減知され辛うじて家名を保つ程でした

「有り難うはゝいますが、石高は使命もムゝますし、それ二三年京にあつて皆川先生の斷絶を免かれてゐたのでつき學びたい考へでございますから」

彦九郎は先づ城下に入る

彦九郎は先づ城下に詣でました。

貸切自動車の御用命は

昭和タクシーへ

高級車で乘心地の好い

昭和タクシー 平驛前

電話は 三四三番

貸地廣告

平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります。然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店。諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり或けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社 平出張所 電話 六〇三番 五四一番

生花教授

池ノ坊流 生花を懇切叮寧に御教授いたします。お遊びがてら御出で下さい。

平町十五丁目通り 須藤まつの

サロンのバーには

何時も生ビールがあります

毎日變つた佛蘭西料理の御献立をして御座います

ドーゾ御試食を……

田町松月堂隣り

美味で評判の きもちよい サロン

電話 三五二番

男、女給仕人數名募集

夜診 療間

胃腸 内科 十二指腸虫病 専門 内科部

淋病 婦人病 皮膚病 専門 外科部

松村性腸病科醫院

（平南町電話一〇七番）

廣告

大和田醫院

電話一七〇番

内科、小兒科 花柳病科 入院應需

藤沼醫院

平町紺屋町 電話平局五〇七番

○ツの石炭の色特

目方の正確

○ツの石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります

◎石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確なければ眞に安いとは申されません

◎當店は目方の正確を期する爲めに

正味十貫目ヲ單位トシ一俵六十錢と定めました

品質の優良

○ツの石炭は磐城炭礦、最上等ノ品で品質は常に一定して居ります

大量生産ですからお安く賣る譽が出來る强味を持つて居ります

○ツの石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい。御氣に召す樣に致しますから

電話一二三七番へ

平驛前 ツ 阿部石炭商店

平町田町

高久病院

醫學士 高久忠 新潟醫學士 赤羽清 藥劑士 佐竹菊雄

電話五一三番

内科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

蜂ブドー酒

美酒 祝讃

健康のため 滋養のため 強壮飲料 おいしくて 強くなる 蜂ブドー酒

醸造 近藤利兵衛商店

4—111

◎ネンシヨウストーブ

連續完全燃燒、燃料經濟、調節自在、堅牢優美、價格低廉

◎スタデリナ石油コンロ

◎及、林内式石油ストーブ

燃料經濟薪炭ニ勝ル、便利ニシテ使用簡易ナリ無煙無臭點滅調節自在ニシテ休裁優美ナリ緊縮如代ニ帶モ理想的國產品デアリマス弊所ハ是ガ製造元ト特約ナシ極メテ薄利多賣主義ヲ以ツテ皆樣ノ御需ニ應ジマス是非御試シノ程願上升

日本石油株式會社特約店 ライジングサン石油會社重油特約店 諏訪電機株式會社カーバイト特約店

茨城縣下館驛前（電話五五番）

商號 吉田油槽所

ネイションストーブ 値下斷行

本店 關彰商店

常磐線平町一丁目（電話六一番）（九〇二番）

關彰商店平支店

特賣!!

たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領

花春 同優等賞受領

醤油醸造元 鹽屋 山崎合名會社

電話一〇番

新築落成

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 （專門）

平町南町（舊診療所向電一七〇番）

大和田醫院 大和田郡司

自炊の便あり

魚市場が強硬に要求を拒絶

例の口錢割戻し 組合側も對策

石城鮮魚商組合では二十三日同組合長鈴木又六外十一名の委員を擧げ平町平魚市場に對して

一、鹽乾物の鮮魚並割戻

要求の件

一、平魚市場に於て組合員外の取引を禁ずる事

一、後拂をどの程度まで認めるか

の右三箇條の要求條項を擧げて即答を求めたが市場側では之れに對し斷然としてはねつけたので鮮魚商組合では二十七日幹部會を開き再度市場側に對して交渉を重ねる事になつたが魚市場側の主張を聞くと

鮮魚は口錢一割の内二分を組合員に割戻してゐる而して乾魚（即ち鹽引その他）に對しては市場は六分の口錢を取つてゐるが組合では之の六分の口錢からも二分を拂戻せと云ふにあるが乾魚の口錢六分は全國市場最低分率で右の内二分を拂戻すとしたら夫れは單に平魚の問題のみならず全國市場に及ぼす所多く斷じて聞くことが出來ぬ」と云ふにあり市場側の態度は極めて強硬で組合員側では見切りをつけ組合を脱退せんとするものもあるやに市場側は頑強に言分を主張してゐる

當分は政界を辭退せぬ考へ

近く態度を聲明する 佐藤庄太郎氏

第三區から馬を進め、同志木村清治氏との間僅四百九十餘票の差で惜敗した政友支部幹事長佐藤庄太郎氏は二十四日夜歸福、敗軍の將とも見られない元氣で支部に納まつたが今後の態度について語る

石城郡で更らに五百票をとることは容易であつたがそれでは木村君に落ち

て了ふので控へた。そも〳〵最初から地盤擁護のため起つたのであるから遺憾とは思つてゐない。中馬當時はこれで政界を引退する必算であつたが相馬、並び石城方部同志の切なる勸告もあつたから考慮し更らに捲土重來を期する必算である云々

尚氏は今二十六日原町中野

民政黨に望む

城山太郎

演口首相は選擧において すでに大多數を制した以上政局は全く安定するに至つたのであるから、これかは、昨年七月組閣當時、中外に聲明したところの例の十大政綱に基ひて各般の政策を遂行するために精進するべき語つてゐる。これは當然のことであつて民政黨内閣が今後何をなすべきかといへば、差當り十大政綱の外に目標はないのであるから、せめてそれだけは遂行實現しなければならぬと思ふ。十大政綱の遂行以外にもなほなすべき多くのものがあると思ふが、しかし今から餘計のことを望んでも仕方がないのであるから、あへて澤山の注文はせぬが、民政黨内閣が組閣當初に聲明した政綱と、またその後總選擧に臨んで國民に公約したところの政策は、必ず實現遂行すべきである。兎も角も民政黨の歷史的大勝利によつて、その政綱政策の實行に對して多くの期待をかけ得るに至つたことも、もとより喜ぶべきことに相違ないが、それに遂行力を意味するものとは云へないが。多數になればひとは認めてたくべきであるが、しかし、事の實際を見れば、必ずしもさうばかりは行かぬ。同時にまた多數なるがゆゑにいろ〳〵の議論もはいへないのである。勝ち得た民政黨側からいへば往々にして却て實行力が弱くなる傾向もあると思ふ。

民政黨内閣が絶對多數を得たことは、前にも述べたなかつたといつても宜しひの期待をかけ得るに至つたことも、もとより喜ぶべき政策に共鳴したゝめであるのである。從つて總選擧の結果は二大政黨の政策の是否優劣といふことよりもむしろ、一般の人氣に支配されて跡を見逃すことが出來ないのである。いはば人物の善惡か勝敗を決したに過ぎないといへるのである。

もつくけれども、われらはもつくけれども、民政黨側も言ひ分をそのまゝ民政黨にあつたと見なければならぬ。しかして、人氣が何故に民政黨にあつたかは、無條件に容れることは出來ないのである。なるほど、政民二大黨の對立を以て總選擧は行はれたのではあるが、しかし、われらは民政黨が勝つて有頂天にならずに、自ら奮ひたつて、ひとかに思ひをこゝに致さなければならぬ。

民政黨内閣が絶對多數を得たことは、前にも述べたなかつたといつても宜しひの期待をかけ得るに至つたことも、もとより喜ぶべき政策に共鳴したゝめであるのである。從つて總選擧の結果は二大政黨の政策の是否優劣といふことよりもむしろ、一般の人氣に支配されて跡を見逃すことが出來ないのである。いはば人物の善惡か勝敗を決したに過ぎないといへるのである。

すなはち政策よりも人氣が